

令和4年度 今治工業高等学校シラバス

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	2単位	学年	1学年
学科	繊維デザイン科	教科書	工業技術基礎（実教出版）				
副教材							
学習目標	1 人と技術と環境について理解させる。 2 テキスタイルデザインの加工技術について理解させる。 3 テキスタイルデザインの生産工程を理解させる。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知技	思判表	主体	
1 学期	4月	工業技術基礎とは 1 工業技術基礎では何をどのように学ぶのか	・工業の専門分野を知り、製作過程を通してものづくりの重要性を理解している。	◎	◎	○	・教科書P33までの内容をタブレットとタブレットを使い理解させていく。
	5月	人と技術と環境 1 社会生活と産業 2 人と環境	・環境にも配慮した持続可能な社会の構築について技術者・消費者として理解している。	◎	◎	○	
		知的財産とアイデアの発想 1 アイデアの発想と権利の取得 2 ものづくりとデザイン	・権利と制度について理解し、自らのアイデアスケッチからデザインの課題点、解決方法を考える。	◎	◎	○	
	6月	事故防止と安全作業 1 薬品による事故について	・実習室で起こりえる事故について、きまりと防止策、対処方法を理解している。	◎	◎	○	
		化学実習の基本操作 1 加熱・質量と容量の測定の基礎知識	・化学反応を利用した製品について物質の特性とガスバーナー・上皿天秤の使い方について理解している。	◎	○	○	
	7月	2 染色の基礎 (1) 浸染について (2) 防染について (3) 捺染について	・色に対する理解を深め、目的に応じた染料の使用方法を理解している。 ・直接染料の特性と技法を理解している。 ・防染技法と型染めについて理解している。 ・顔料と染料の捺染による違いを理解している。	◎	◎	◎	
		8月	基本織物製造実習 1 機結び実習	・結び方を理解して、確実に素早くできる。	◎	○	
2 学期	9月	2 織物の基本組織	・基本的な組織を理解し、自分で組織を作れる。	◎	◎	○	・一人一人が安全に留意しながら実施する。 ・必要に応じて班別学習を適時適切に設定し基礎的知識と技能の定着に努める。 ・講義と作業を適切に組み合わせ、指導する。 ・デザインの三分類を元に導入を進める。
		3 基本的な織機運転実習	・織機の運転方法を理解し安全に運転できる。	◎	○	○	
	10月	4 基本的な縫製実習	・工業用ミシンの基本を理解して、安全に正しく縫製することができる	◎	◎	○	
	11月	図面の表しかた 1 製図の基礎知識 2 製図の実習	・製図の基礎を習得させ、基礎的な図面の読み取りや作成する能力を身に付ける。	○	◎	○	
		寸法のはかりかた 1 測定器の基礎知識	・長さの代表的な測定器の測定方法について習得させ、測定値には誤差が含まれていることを理解している。	◎	◎	○	
12月	工具の扱い方 1 作業工具の基礎知識 2 電動工具の基礎知識	・基礎的な工具の選定や扱いかたについて習得させ、作業を正しい手法で能率よく進められるようになる。	○	◎	○		
	デザインについて学ぼう 1 デザインの基礎知識	・身近なデザインから始まり、基本的な考え、知識、技術を理解している。	◎	○	◎		
3 学期	1月	2 色彩の基礎知識	・デザインにおける色彩計画を元に、色彩の特性を理解している。	◎	◎	○	・身近な題材を取り上げ、考察しやすい内容を選択する。
	2月	3 書体の基礎知識	・タイポグラフィの知識に触れ、美しいデザインのレイアウトを身に付ける。	◎	○	◎	・美しいレイアウトへの定着に努める。
		インテリアについて学ぼう 1 インテリアの基礎知識 2 人間工学の基礎知識	・インテリア、人間工学、材料加工とデザインの関係性を理解している。	◎	○	◎	・主体的に取り組めるよう努める。
	3月	3 材料加工の基礎知識 まとめ	・より専門性の高い学びへの心構えを育成する。	○	○	◎	・一年間を振り返る。

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	・ 考査評価、提出物評価、学習の取込み状況評価などの総合評価とする。 ・ 平常時の授業態度、意欲等の授業に対する取り組みについても評価する。
------	---